

科目名 Course Name	教職実践演習 (栄養教諭二種) Teaching Practice Seminar			ナンバリング No.	L4-008		
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	駒場啓子 松崎勇人 藤田 睦 野中春奈						
連絡先(質問等)	担当教員の研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択 (教職課程必修: 栄養教諭二種免許)						
関連 DP	DP2 DP3						
授業の概要と 到達目標	<p>教職ポートフォリオ (学習の履歴、実習記録、実習評価表等) に基づく反省と考察を加え、特に、①学習指導力 (食に関する指導) ②児童生徒指導力、③調整力 (小・中学校教職員間、学校・家庭・地域及びその他の関係機関との連絡調整) の3つの視点から教職実践力をとらえ、教職の理解とその実践力の習得を図る。</p> <p>①教育に対する健全な使命感、責任感、情熱をもって、児童・生徒と共に学び、成長しようとする態度を身に付けることができるようにする。</p> <p>②教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができるようにする。</p> <p>③児童・生徒の発達や心身の状況を適切に把握し、生きる力を育む指導を行うことができるようにする。</p> <p>④栄養教育の目的・内容・方法についての基本的事項を再度確認し、食に関する指導に応用することができるようにする。</p>						
授業の方法	主に、演習形式で行う。講義、講演、模擬授業 (役割演技を含む)、実技指導、ディスカッション、事例研究、発表、まとめ等の方法を組み合わせながら取り入れ、教職実践力の習得を図る。						
学習成果	L01						
	L02	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誠実、公平かつ責任感をもって児童・生徒に接し、共に成長しようとする意識を持って、自己の職責を積極的に果たそうとする姿勢を身に付けることができる。</li> <li>・社会人としての基本を身に付けるとともに、相互に連携・協力し、課題に対処することができる。</li> <li>・児童・生徒の心身の状況をとらえ、児童・生徒が食に関する自己管理能力を身に付けようとする態度を育てることができる。</li> </ul>					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	課題レポートは提出後、意見を付してフィードバックする。模擬授業後、各自に良かった点、改善点等を示しフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	参考図書: 「四訂 栄養教諭論 ー理論と実際ー」(金田雅代編著・建帛社) 1年次栄養教諭論で使用						
履修上の留意点 やルール等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遅刻厳禁 ●授業中の飲食は禁止●携帯電話の使用は禁止</li> <li>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。</li> </ul>						
担当教員の実務 経験	実務経験 駒場 (職種: 栄養教諭 職歴: 6年) 食に関する指導の模擬授業に関し、実務経験を活かして指導することができる。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	事前・事後の学習をしっかりと行い授業に臨むこと。ディスカッションでは、他者の意見を尊重しつつ、積極的に自分の意見を述べる。 不明な点があれば、積極的に質問する。		20		
レポート/作品	3回レポートを課す。Sの評価は、「それぞれのテーマについて情報を収集し、食に関わる者としての視点を持ちつつ、自分の意見が述べられている。誤字脱字が無い。」である。		30		

発表	食に関する指導の模擬授業を2回行う。Sの評価は「授業のねらいが明確であり達成できている、児童・生徒への指示が適切に行われている、板書は丁寧、的確である、使用する媒体は効果的である。」である。		50		
小テスト					
試験					
その他					
<b>合計</b>			100		

回数		授業計画
1	授業内容	学習の成果、学習方法、成績評価、授業の諸注意について (駒場 野中 藤田) 研究課題の設定
	事前・事後学習	研究課題を設定する。(栄養教諭が行う食に関する指導について)
2	授業内容	教育経営について(講演・討論・まとめ) (松崎)
	事前・事後学習	栄養教諭の職務内容と校務分掌について調べる。
3	授業内容	外部講師による講演(佐野市教育委員会) テーマ「児童生徒理解について」 *レポート:講演テーマについて情報を収集し、自分の考えをまとめる。 提出は第5回目の授業日
	事前・事後学習	栄養教諭が関わる児童生徒指導について調べる。
4	授業内容	外部講師による講演(佐野日本大学中高教育学校長) テーマ「現代社会の教育諸問題と教職の課題」*レポート:講演テーマについて情報を収集し、自分の考えをまとめる。提出は第6回目の授業日
	事前・事後学習	児童生徒の食に関わる諸問題を考える。
5	授業内容	教育基本法・学校教育法と学習指導要領(講義・討論・まとめ) (野中)
	事前・事後学習	学習指導要領の改訂とねらいについて調べる。
6	授業内容	食に関する指導の計画(食に関する指導の全体計画の作成)・評価 (駒場)
	事前・事後学習	これまで学習した(体験した)ことを参考に、食に関する指導の全体計画を作成する。
7	授業内容	食に関する指導の計画(食に関する指導の年間指導計画の作成)・評価 (駒場)
	事前・事後学習	これまで学習した(体験した)ことを参考に、食に関する指導の年間指導計画を作成する。
8	授業内容	食に関する指導の計画(指導案の作成) (駒場)
	事前・事後学習	教育実習での授業を振り返り、指導案との相違を考える。
9	授業内容	児童生徒の栄養上の課題と学校・家庭・地域との連携(講義・討論・まとめ) (藤田)
	事前・事後学習	栄養教諭が中核となっていく、家庭・地域との連携について考える。
10	授業内容	外部講師(栄養教諭)による講演:テーマ「個別栄養相談・指導の現状」 *レポート:講演テーマについて情報を収集し、自分の考えをまとめる。 提出は第12回目の授業日
	事前・事後学習	栄養教諭が行う個別指導の留意点について考える。
11	授業内容	「食に関する指導」の模擬授業Ⅰ(指導案の作成) (駒場) 食生活学習教材(文部科学省)を活用した授業を行う。
	事前・事後学習	指導案の作成、教材・媒体の作成、
12	授業内容	「食に関する指導」の模擬授業Ⅱ(役割演技・討論・まとめ) (駒場) 食生活学習教材(文部科学省)を活用した授業を行う。
	事前・事後学習	模擬授業を振り返り、改善点をまとめる。
13	授業内容	「食に関する指導」の模擬授業Ⅲ(指導案の作成) (駒場) 家庭科や体育科(保健)等で日本型食生活を見直させ、生活習慣病予防の重要性に

		ついて指導する。
	<b>事前・事後学習</b>	指導案の作成、教材・媒体の作成、
14	<b>授業内容</b>	「食に関する指導」の模擬授業Ⅳ（役割演技・討論・まとめ）（駒場） 家庭科や体育科（保健）等で日本型食生活を見直させ、生活習慣病予防の重要性について指導する。
	<b>事前・事後学習</b>	模擬授業を振り返り、改善点をまとめる。
15	<b>授業内容</b>	研究発表（野中 駒場）
	<b>事前・事後学習</b>	研究発表の準備。